

(ア) 健康・生活

ねらい	・健康状態の把握 ・健康状態の維持・改善 ・生活習慣や生活リズムの形成 ・基本的生活スキルの獲得 ・生活におけるマネジメントスキルの育成
支援内容	<p>&lt;健康状態の把握&gt; 子どもの特性を理解し、小さなサインから心身の異変に気付ける様、観察する。 検温、視診を行い、異変があれば看護師のより専門的な助言をもらい、適切な対応を行う。</p> <p>&lt;健康状態の維持・改善&gt; 食育や生活に関する絵本の読み聞かせを行うことで、自身の日々の食事や生活に気付き、関心が持てるよう促す。 生活リズムが整うよう声を掛ける。 活動の中でストレッチを取り入れ、健康維持の向上を図る。</p> <p>&lt;生活習慣や生活リズムの形成&gt; 必要に応じて、朝食や昼食の摂取量を家庭や学校と連携し、起床や入眠に問題や悩みがある児童に対して家庭と連携し支援を行う。また、健康な身体作りを維持、支援する。</p> <p>&lt;基本的生活スキルの獲得&gt; 日常生活において、衣服の調節が難しい児童に対して職員と一緒に着脱を行うことで一連の流れが覚えられるよう促し、少しでも出来る事を増やしていけるよう支援する。 排便、排尿のタイミングを確認しながら、トイレ誘導などを行い、自己にてトイレで排泄が行えるよう支援を行う。 調理活動を通して様々な食材や調理工程・方法を知り、食事の大切さを学べるよう支援する。</p> <p>&lt;生活におけるマネジメントスキルの育成&gt; 状況に応じて、自己の行動や感情を調整したり、他者に対して主体的に働きかけたりしてより生活しやすい環境にしていくための支援を行う。また、自分で何をするかアイデアを出しながら、自身の生活をマネジメントすることができるよう、児童の意向を受け止めながら、自身で組み立ててできる行動を増やしていけるよう支援する。</p>

(イ) 運動・感覚

ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上</li><li>・姿勢維持と運動・動作の補助的手段の活用</li><li>・身体の移動能力の向上</li><li>・保有する感覚の活動</li><li>・感覚の補助及び代行手段の活用</li><li>・感覚の特性への対応</li></ul>
支援内容	<p>&lt;姿勢と運動・動作の基本的技能の向上&gt; 姿勢保持のための椅子やバランスボールを室内に置き、日常的に活用できるよう環境を整え、体幹が強くなるような筋力の維持、強化を支援する。</p> <p>&lt;姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用&gt; トイレ内に手すりをつけることで、排泄時の動作の手段として補い、自身がよりスムーズに排泄できるよう促す。 バランスボールや姿勢保持をサポートする椅子を置くことで、食事や活動の際は椅子に座る時間を設け、筋力低下の予防が出来るよう日常生活の中で支援する。</p> <p>&lt;身体の移動能力の向上&gt; 事業所に通所する際に、公共交通機関を利用し、社会的な場面における移動能力の向上のための支援を行う。 日常生活の中で歩行練習などの支援を行う。</p> <p>&lt;保有する感覚の活用&gt; 調理活動により、調理工程で材料に触れたり、火を通した時の匂いの変化に気付いたり食べた時の口腔内の感覚受容体を刺激したり、視覚・味覚・嗅覚・触覚などの感覚活動を取り入れ、興味を持つこと、成功体験に導けるよう、支援する。</p> <p>制作活動にて、様々な材料に触れる事で、微細な感覚を養えるよう促す。</p> <p>ダンス活動に取り組むことで、身体能力の向上、心肺機能の向上、感覚統合を図る。</p> <p>屋外活動では散歩にでたり、公園に出かけたりすることで広い運動場や遊具で遊びながら身体の向上を支援する。また雨天の場合でも近隣の屋内アミューズメントパークやショッピングセンターに出かけたりすることで、少しでも多く身体を動かせるよう援助をする。</p> <p>&lt;感覚の補助及び代行手段の活用&gt; 障がいの状態や発達の段階、対象児童に応じて、眼鏡や補聴器等の補助機器を活用し、支援を行う。</p>

	<p>&lt;感覚の特性への対応&gt; 一人ひとりの特性を知り、苦手とすることや受容できない場合は、気持ちに寄り添い環境の配慮をする。</p>
--	--

(ウ) 認知・行動

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知の特性についての理解と対応</li> <li>・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(感覚の活用や認知機能の発達、知覚行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成)</li> <li>・行動障害への予防及び対応</li> </ul>
支援内容	<p>&lt;認知の特性についての理解と対応&gt; 認知の特性を踏まえ、絵カードやスケジュール表などを用いて自分に入ってくる情報を適切に処理し、自ら選択して安全に正しく行動できるよう支援し、認知の偏りなどひとりひとりの特性に配慮する。</p> <p>&lt;対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得&gt; 制作活動を行い、資材や道具を使うことで、指先を使用し、知覚・視覚・触覚が認知できるよう支援を行う。</p> <p>1年を通して季節に合った行事を体験、壁面の装飾を作成し、環境を整えることで季節の流れや時間を認知できるように支援を行う。 買い物学習等の外出学習を取り入れることで、お金の概念を養い、物を購入するという行動が行えるように支援する。</p> <p>生き物を飼育、植物の世話をすることで生命の大切さに気付けるよう支援する。</p> <p>活動の中でタイマーや時計を意識的に使い、時計を見る習慣をつけ時間の認知形成を図る。</p> <p>&lt;行動障害への予防及び対応&gt; 調理活動やおやつを提供を行い、こだわりや偏食に対する支援を行う。</p>

(エ) 言語・コミュニケーション

ねらい	・コミュニケーションの基礎的能力の向上
-----	---------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の受容と表出</li> <li>・言語の形成と活用</li> <li>・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</li> <li>・コミュニケーション手段の選択と活用</li> <li>・状況に応じたコミュニケーション</li> <li>・読み書き能力の向上</li> </ul>
<p>支援内容</p>	<p>&lt;コミュニケーションの基礎的能力の向上&gt;  絵カードを使用したコミュニケーション訓練やロールプレイングによる会話練習、読み聞かせと感想の共有や、こどもたちが自分の思いを適切に表現し、他者とのコミュニケーションをスムーズにできるよう支援する。</p> <p>&lt;言語の受容と表出&gt;  終わりの会で活動の振り返りとプレゼンテーションを行い、自分の気持ちを言葉にできる時間を設け、言語表現の能力向上を支援する。</p> <p>&lt;言語の形成と活用&gt;  造形活動やごっこ遊び、模倣を通してやり取りの楽しさを知り、少しでも多くの語彙力や文章の理解力が身に付くよう支援する。</p> <p>&lt;人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得&gt;  支援員だけではなく、ダンスの外部講師との関わりのなかで、模倣することの楽しさや興味関心が持てるような活動を取り入れる。</p> <p>&lt;コミュニケーション手段の選択の活用&gt;  非言語コミュニケーションにより他者に自己の意思を伝えるやり取りを行うことで、自己選択、自己決定を行えるよう支援する。  絵カードを使用するなど、本人が伝えたいことに気付ける様、手段の一つとして活用していき、コミュニケーションの向上を図っていく。</p> <p>&lt;状況に応じたコミュニケーション&gt;  外出活動や買物学習で地域の方や店員さんと関わったりすることで、その場に応じた言葉遣いや挨拶などを学ぶ機会を増やし、主体的にコミュニケーションが取れるよう支援する。</p> <p>&lt;読み書き能力の向上&gt;  日々の活動の中に、学習活動の時間を設けることで読字や書字の習得が出来るよう支援を行う。  施設内に紙やペンを準備し、活動時間に自由に使用できるよう準備を行う。</p>

(オ) 人間関係・社会性

ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>・アタッチメント(愛着)の形成と安定</li><li>・情緒の安定</li><li>・他者との関わり(人間関係)の形成</li><li>・遊びを通じた社会性の促進</li><li>・自己の理解と行動の調整</li><li>・仲間づくりと集団への参加</li></ul>
支援内容	<p>&lt;アタッチメント(愛着)の形成と安定&gt; 職員や他児と継続的に関わることにより、信頼関係を継続し安心感を育めるよう促す。</p> <p>&lt;情緒の安定&gt; 児童の環境や状況、発達過程を把握し、自己にて感情や欲求を自覚できるよう支援を行う。また安定した情緒の下で、生活できるよう支援を行う。</p> <p>児童が安心して過ごす事が前提として、意図的に情緒を乱す活動を行うことで情緒が乱れた時の対処法を職員と考えられるよう支援を行う。</p> <p>&lt;他者との関わり(人間関係)の形成&gt; 戸外や所内でルール遊びや役割分担のある遊びなどの共同遊びを行い、ルールを守ることや、他児の気持ちを尊重することで社会性が身に付けられるよう支援する。</p> <p>外出活動や買物学習で地域の方や店員さんと関わったりすることで、他者との関わりの楽しさを味わえるような活動を取り入れ、社会生活に必要なスキルを身につけられるよう支援を行う。</p> <p>地域イベント内で、みんなで覚えたダンスを人前で披露し、終わった後の気持ちを全員で共有することで、できたことの喜びや達成感を体験できるよう促す。</p> <p>近隣のお寺で行われるイベント(ハロウィン等)に行くことや参加するなど、地域の方と交流をし、自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみが持てるような活動を取り入れる。</p> <p>&lt;遊びを通じた社会性の促進&gt; チームに分かれる遊びを取り入れ集団、チーム内でのルールや自身の立ち位置、自身がどうしたらよいのか考えられるよう支援を行う。</p> <p>&lt;自己の理解と行動の調整&gt; 自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解できるよう促し、集団の中で状況に応じた行動ができるよう支援する。</p>

一人ひとりの特性に合うような活動を設定し、自信が持てるような成功体験を生むよう支援する。また自己肯定感も高められるようにも促す。

自身の感情が乱れ、不安になった際に安心感を得られるよう、気持ちに寄り添うことや共感することで、自分の感情に折り合いをつける役割が果たせるよう支援する。

<仲間づくりと集団への参加>

集団で過ごす中で、他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動、また参加ができるように支援する。